

恒例の旅行会

初秋の「青樹荘」で

「きのこ」汁を味わう

昭和三十九年の東京片貝会「きのこ」汁を味わう恒例の旅行会が、去る一月十四日(日)午後、青樹荘(赤坂)で開かれた。この恒例の旅行会は、昭和三十九年十一月十四日(日)午後、青樹荘(赤坂)で開かれた。この恒例の旅行会は、昭和三十九年十一月十四日(日)午後、青樹荘(赤坂)で開かれた。



「奥湯河原の道」高知尾健次郎出版記念風餐(赤坂・まるやま)

「奥湯河原の道」出版記念のつどい

出版記念のつどい

「奥湯河原の道」の出版記念のつどい。高知尾健次郎氏の著書「奥湯河原の道」の出版記念のつどい。高知尾健次郎氏の著書「奥湯河原の道」の出版記念のつどい。

校旗もあらたに

表彰・感謝状をおくり 意義深く挙行さる

母校創立五十周年を記念して、本校の校旗をあらたに。母校創立五十周年を記念して、本校の校旗をあらたに。母校創立五十周年を記念して、本校の校旗をあらたに。



校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。

校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。

校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。校旗もあらたに。

片貝会に若い力を

平石正美

私片貝会存続の要は、若い力である。私片貝会存続の要は、若い力である。私片貝会存続の要は、若い力である。

私片貝会存続の要は、若い力である。私片貝会存続の要は、若い力である。私片貝会存続の要は、若い力である。

魚とふく

兼 田 兼 和 兼 活

東横線網島駅前 電話(45)0109

酒亭大 関

錦糸町東劇場3階 電話(633)9749

自宅 杉並区高円寺1-33-3 電話(311)5050 和田力子

専門 各種 鮫

株式会社 富春商店

代表取締役 福井春蔵 福井カッ

売場 東京都中央卸売市場内(2023) 電話直通(541)9138 電話 東銀座 (542) 1111 (代表) 内線 (2895)

事務所 東京都中央区築地小田原町3-4 東都水ビル内 東栄会 電話 東銀座 (542) 2601-3

自宅 東京都北区中里町171 電話(821)4991

史実を克明にダイジェスト

「小千谷の歴史」成る

編集の労を多謝 安達龍作

小千谷町史は昭和十一年を... 町史の編纂は、文化の発展、町民の啓蒙、町民の生活の向上に資するものである。

ポケット人物語り(2)

地道に今日を築いた

袋物商 高野三郎さん



高野三郎氏

高野三郎さんは袋物商の中心として活躍されています。地道に今日を築いたという言葉を、高野三郎さんに聞いてみました。

①片貝の大屋敷 現住小千谷町... ②片貝の浄照寺 浄照寺は、浄土宗の寺院で、片貝の浄土の中心地である。

八島にのほりが生まれた 八島ののほり、かつては八島村と呼ばれていた。のほりには、八島ののほり神社がある。



八島にのほりが生まれた

袋物商の中心として活躍されています。地道に今日を築いたという言葉を、高野三郎さんに聞いてみました。

大正末期から ハンドバック 大正末期から、ハンドバックが流行しました。これは、大正時代のファッションの一部です。

趣味のお土産品 食料品店 広井商店 奥湯河原温泉場

松月堂米菓工場 吉原三郎 (大正11年卒) 代表取締役 横山福次 (大屋敷) 横山松代

